

朝日大学病院を受診された患者さまへ

研究情報の公開について（オプトアウト）

通常、臨床研究を実施する際には、文書もしくは口頭で説明・同意を行い実施をします。臨床研究のうち、患者さまへの侵襲や介入もなく診療情報等の情報のみを用いる研究等については、国が定めた指針に基づき「対象となる患者さまのお一人ずつから直接同意を得る必要はありません」が、研究の目的を含めて、研究の実施についての情報を公開し、さらに拒否の機会を保障することが必要とされておりますこのような手法を「オプトアウト」と言います。オプトアウトを用いた臨床研究は下記の通りです。なお、研究への協力を希望されない場合は、下記文書内に記載されている各研究の担当者までお知らせください。

研究課題名	再発肝がんにおける肝機能シンチを利用した体幹部定位放射線治療計画の有用性（肝機能保護と治療効果の評価）
当院の研究責任者（所属）	放射線部 谷口拓矢
他の研究機関および各施設の研究責任者	なし
本研究の目的	再発肝がんに対する定位放射線治療において、肝機能シンチの画像を利用して肝機能保護を目的とした治療計画を作成する有用性を評価すること。
調査データ該当期間	2020年1月1日から2024年12月31日
研究の方法（使用する資料等）	通常診療の過程で肝機能シンチと肝定位放射線治療を施行した患者を対象に、肝機能シンチを利用した治療計画と、利用しない治療計画にて機能肝保護の影響を比較評価する。
試料/ 情報の他の機関への提供	なし
個人情報の取り扱い	「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」及び適用される法令等に遵守し、画像の匿名化処理を行い個人情報が漏れないよう十分配慮する。
本研究の資金源(利益相反)	なし
お問い合わせ先	研究代表者 朝日大学病院 放射線部 谷口拓矢
備考	